



## 家庭ゴミ手数料有料化について

千葉市は平成19年から家庭ごみ3分の1削減に向け、焼却ごみ減量の啓発、雑紙の分別、環境教育学習等を行い、5年間で約6万5000トン削減を達成しました。しかし23年度、24年度の現在までは削減ペースが落ち込み、総量25万4000トンの目標達成が難しい状況です。ごみ削減のための実施事業として、プラスチック製容器包装、剪定枝、生ごみの再資源化が手数料有料化とともに計画されていますが、それぞれの再資源化には国の法改正や通知、多額の費用がかかることなどにより、現段階では導入を見送っています。ごみ削減の目標の達成が難しい中、現在3清掃工場体制で実施しているごみ処理体制を、北谷津清掃工場の老朽化に伴い、立て直しをするか、廃止にして2工場体制にするか、決断する時期が迫っています。行政は市長との対話会などを通じて市民に家庭ごみ手数料有料化に理解を求めており、議会でも白熱した議論が行われています。現在、学識経験者、関係団体、公募市民などで構成される廃棄物等審議会に諮問され、有効な施策にするための議論が行われています。現時点での私ども会派としての見解は、環境の向上の観点から2工場体制が実現できるよう、一層のゴミ削減は市民全体で取り組まなければならない。

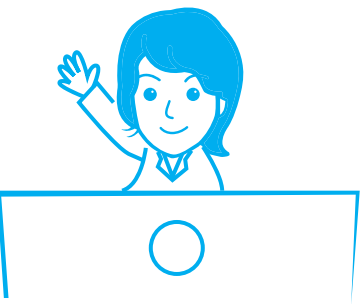
もし有料化を実施するとすれば市民にさらに負担を求めることから以下について十分検討されるべき。

- ・他の未実施の事業も導入について時期・方法等を検討すること
- ・手数料有料化で入った財源については、環境施策で直接市民に還元できるようにすること  
(行政は資源ごみの祝日の回収、高齢者のごみ出し支援事業への補助等を検討しています。)
- ・ごみ減量により北谷津清掃工場の立て直しが不要になった場合は高齢者福祉や子育て支援に財源を回すこと  
(行政もその方向で考えています。)
- ・小さいお子さんのいる家庭や介護世帯は紙おむつを排出しなければならないため、負担軽減策を行うこと
- ・地域の公園清掃等の活動にも負担軽減策を行うこと (これらについても行政は検討しています。)



また会派内では環境向上に携わる企業の育成や市内誘致の必要性も検討しています。東日本大震災を通して、電力等のエネルギーが無尽にあるのではないことを私たちは思い知りました。未来のためにも地球にやさしい都市を目指すことが必要であり、身の回りの資源を大切にす生活にもう一度立ち返るためにも家庭ゴミ手数料有料化について、考える必要があると考えます。

## 平成24年度第3回定例会 一般議案・決算議案ともに全て可決しました。



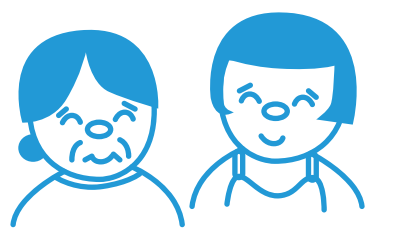
- 主な一般議案
  - ・訴えの定義について(生活保護費2500万円不正受給に対し訴えを提起する)
  - ・千葉競輪場開催業務等包括委託審査委員会設置条例の制定について(直営から民間に委託することで赤字回避するため)
- 補正予算
  - ・液状化対策推進 6800万円(モデル地区を1か所から4か所へ)
  - ・耐震改修助成 3000万円
  - ・海浜病院リニアック棟整備

がん診療の強化のため、放射線治療装置を導入  
私も保健消防委員として、生活保護の適正な支給を求め、会派代表として一般議案の賛成討論を行いました。

## あんしんケアセンターが増設されました

今まで美浜区内に2か所だったあんしんケアセンターが4か所に増設されました。お住まいの地域ごとにセンターの管轄する町丁が定まっていますので、ご確認ください。

新規	●あんしんケアセンター真砂	真砂3-13-4 (稲毛海岸5丁目、中瀬1丁目、ひび野1丁目、真砂、若葉)
	●あんしんケアセンター磯辺(旧セイワ美浜)	磯辺2-2-2 (磯辺、打瀬、高浜5・6丁目、豊砂、中瀬2丁目、浜田、ひび野2丁目、幕張西、美浜)
	●あんしんケアセンター高洲(旧みはま苑)	高洲3-3-12 (稲毛海岸1~4丁目、高洲、高浜1~4・7丁目)
新規	●あんしんケアセンター幸町	幸町2-7-6 (幸町・新港)



## 科学都市戦略事業をご存知ですか？

千葉市は昨年度、科学都市戦略事業を策定し、科学都市ちばを目指し、科学教育の推進、人材や企業の育成に取り組んでいます。前回の議会では、科学教育の更なる充実を求め、一般質問を行いました。千葉大学・市内企業との連携を強化し、科学館のある環境を生かし、千葉市でしかできない取り組みが多く行われています。

- 主な取り組み
  - 小学校の理科支援員の配置 国の事業として行われている理科支援員の配置の必要性は子ども達、保護者、教職員の方からも多く意見が寄せられています。そこで今年度までのこの事業の、来年度の継続を求めました。千葉市は「ボランティア・退職教員・関係団体などの人材を活用して継続できるよう検討していく」とのことでしたが、その後、国が名称を変え、事業を継続していくことがわかりました。今後もこどもの教育環境向上のため、取り組んでまいります。
  - 科学フェスタ 10月6日、7日に行われ、私も参加して参りました。2年目の今年は企業や団体のブースも充実し、なるにはカフェ・サイエンスショー・プラネタリウム無料開放などが行われ、多くの親子連れでにぎわっていました。大人・中学生が学ぶにも良い内容になっています。市立千葉高等学校 スーパーサイエンススクールに2回目の指定 課題研究や外部連携講座を充実させ、特色ある理数系教育を行っていきます。
  - 千葉都市モノレールの新車両での生徒自由研究の展示は、身近な題材で高度な研究発表をしていました。
  - 未来の科学者育成プログラム 中学生を対象に先端科学技術の受講体験ができるプログラムを通して、人材育成につながる取り組みをしています。

## 液状化対策の状況について

先月、磯辺63自治会がモデル地区に選定され、詳細なボーリング調査が始まりました。この地区だけではなく、液状化の被害があった真砂・磯辺・幕張西の地域一帯も大きく調査する予定です。今後はモデル地区の調査結果を踏まえ、液状化対策推進委員会において工法が決定し、全体の工事費用や各個人の負担額についても具体的に提示されます。千葉市は東日本復興基金の使い道として液状化対策の支援も検討しています。モデル地区はあと三か所選定予定です。液状化対策に前向きな地域の方は私や市役所市街地整備課にお問い合わせください。

## 津波避難ビルの設置拡充について

私が今まで2回、一般質問を行った沿岸部の津波避難ビル  
の設置が拡充されました。3月に43か所設置され、7月には県立高校や幸町にあるALSOK東関東ガードセンターが、9月末には千葉ポートスクエア、千葉職業能力開発短期大学校が新たに指定され、52か所まで拡充しました。そして、海浜幕張地区についても、12月中の指定に向け、調整中です。また海抜表示については国道の道路標識の一部や公共施設に設置する予定です。今後も、地域の実情に合わせた防災対策を進めるよう取り組んで参ります。

千葉県による津波の予測は  
どうなっているの？

市域への最大津波高3m未満、  
想定浸水区域10~20ヘクタール  
津波到達時間 約40~50分、南海トラフ地震100分  
浸水が予測される地域の戸建住宅居住人口 約2500人

## 家庭ごみ手数料 有料化を皆で考える 意見交換会 & 市政報告会

真砂中央ショッピングセンター内  
たばた直子事務所にて

11月10日(土曜日)10時~12時

(前回の議会レポートでお知らせしていた当初の予定より  
実施が遅くなり誠に申し訳ございません。)

予約は不要です。お気軽にお越しください。

## ごみ手数料有料化について 皆さんがどのように思うかお聞かせください。

- 家庭ごみ手数料有料化についてどう考えますか？  
ア 大いに導入すべき    イ やむを得ない  
ウ 慎重にすべき        エ どれもあてはまらない
- 1の理由をお書きください。

3. ごみ減量の目標を達成するために、もっと私たち市民が  
努力すべきだと思うことがありましたら、お書きください。

4. 清掃工場建て替えの必要がなくなった時に、その財源で  
手厚くすべきと考える施策をお書きください

氏名: \_\_\_\_\_ 電話番号: \_\_\_\_\_  
住所: \_\_\_\_\_

FAX: 043-216-3891 までお送りください

発行: たばた直子事務所

〒261-0011 千葉市美浜区真砂 5-44-13 真砂中央ショッピングセンター内  
TEL: 043-216-3861 FAX: 043-216-3891  
メールアドレス: info@tabatanaoko.com ホームページ: http://tabatanaoko.com

